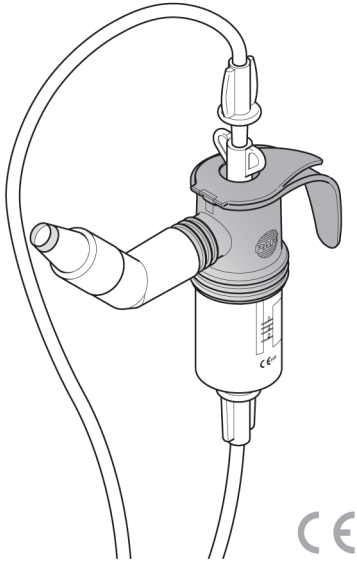
K61-250-005-01

SINUS Nebuliser

PARI LCスプリント ジーヌスネブライザー
取扱説明書



CE 0123

■この度は、PARILC スプリントジーヌスネブライザーをお買い上げ頂きましてありがとうございます。
■ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。
■この取扱説明書を大切に保管してください。

目次

安全上のご注意 …… 3
概説 …… 5
標準セット内容 …… 6
各部名称 …… 6
操作方法 …… 7
吸入方法 …… 9
送気ホースと振動波用ホースのお手入れ …… 11
洗浄前の準備 …… 12
家庭における吸入後の手順 …… 12
医療施設における吸入後の手順 …… 14
廃棄 …… 18
材質と耐用期間 …… 19
仕様 …… 19
スペア部品·別売品 …… 20

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。お使いになる人や他の人への危害や損害を防ぐために、お守り頂くことを説明しています。誤った使用による不具合や故障に対して、当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

⚠警告	「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示します。
⚠注意	「人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容」を示します。

⚠警告

- 乳幼児や小児、または介助を必要とする人が吸入を行う場合、電源コードや送気ホースを引っ張ったり、誤って首に巻きつけたりしないよう必ず保護者や介護者が付き添ってください。
- 本品には小さな部品も含まれています。小さなお子様が誤って飲み込むと呼吸困難に陥る危険がありますので、必ずお子様の手の届かないところに保管してください。
- 効果的な吸入治療が難しく、かつ窒息の危険性があるため、本品は自発呼吸ができない患者並びに意識のない患者の吸入治療には適していません。

⚠注意

- 本品の使用に先だって、必ず医師に相談し、医師の処方または指示した薬液のみを噴霧してください。また、症状が改善しない場合や体調が悪くなった場合は、吸入治療を中止してすぐに医師にご相談ください。
- 定期的にネブライザーの各部品に損傷（破損、変形、変色）などがないか確認してください。ネブライザーは消耗品ですので、摩耗による粒子径の変化によって治療効果が損なわれる可能性があります。少なくとも1年ごとに新しいネブライザーと交換してください。
- 本品の使用及び洗浄の前には、念入りに手を洗い、必要に応じて消毒してください。
- 1本のネブライザーを複数で共用せずに、必ず各人専用のネブライザーをご使用ください。
- 本品及びノーズピースなどの付属品は、P12の「家庭における吸入後の手順」または、P14の「医療施設における吸入後の手順」の項に従って、洗浄、消毒、乾燥を行ってください。また、本品をご購入後初めて使用する前と、毎回使用後に、同様の手順で洗浄、消毒、乾燥を行ってください。
  使用後に洗浄しないまま放置した場合や完全に乾いていない場合、バクテリアが繁殖する恐れがあり、感染の危険が生じます。
- 新鮮な飲料用水道水を使って洗浄と消毒を行ってください。
- 洗浄と消毒を行った後、すぐに全ての部品を乾燥させることが重要です。
- ネブライザー及びノーズピースなどの付属品を湿気のある環境や湿ったものと一緒に保管しないでください。

概 説

PARI ジーヌスはPARI LCスプリントジーヌスネブライザーとPARI ジーヌスコンプレッサーとの組み合わせからなり、上気道の吸入治療に適した吸入器です。特に、鼻・副鼻腔用吸入薬の吸入に適しています。
副鼻腔炎の吸入治療では、薬液エアロゾルの発生と送達方法に特殊な条件が必要となります。まず何よりも小さな自然口を通過させて副鼻腔の病変部に薬液エアロゾルを沈着させなければなりません。PARI ジーヌスによって発生した**振動エアロゾル**は、容易に自然口を通り抜けて副鼻腔まで到達し、これによって病変部へのエアロゾルの沈着を可能にしました。さらに、局所的な投与方法である吸入療法では経口や注射に比べて薬剤が少量で済むため副作用も少ないという利点があります。

⚠
- 本品での吸入治療が耐えられない場合や、具合が悪くなる場合は本品での治療を行わないでください。
- 術後や中耳炎がある場合の振動エアロゾル吸入に関しては、医師がその危険性と効果を十分に考慮した上で行ってください。
- 完全な鼻閉の場合は、本品での治療を行わないでください。治療前に必ず鼻閉でないことを確認し、必要な場合には事前に開放処置を行ってください。

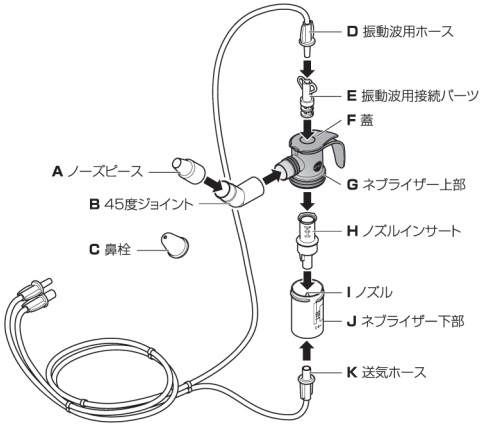
標準セット内容

本品は以下の部品で構成されています。万一不足部品がありましたら、本品をお買い上げいただいた販売店または当社へご連絡ください。

- ■ PARI LCスプリントジーヌスネブライザー本体（ノズルインサート：オレンジ） 1個
- ■ ノーズピース 1個
- ■ 45度ジョイント 1個
- ■ 鼻栓 1個
- ■ 振動波用接続パーツ 1個
- ■ ジーヌス送気ホースシステム（送気ホースと振動波用ホース） 1セット

※両端の先端アダプターの形が異なるホースが2本逆向きにセットされています。（PARI 送気ホースシステムジーヌス用がセットに含まれていないものもあります。）

各 部 名 称

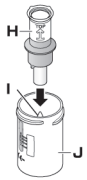


操 作 方 法

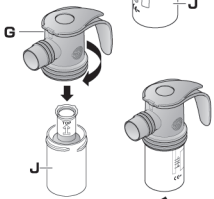
- 本品を使用する前に、必ずネブライザーが前回使用後に洗浄または消毒されているかチェックしてください。洗浄されていない場合や長期間使用しなかった場合には、必ず使用する前に洗浄し、必要に応じて消毒を行ってください。(P12の「家庭における吸入後の手順」またはP14の「医療施設における吸入後の手順」をお読みください。)
- 毎回使用前に、ネブライザーの各部品に損傷(破損、変形、変色)などがないか確認してください。ネブライザーは消耗品ですので、摩耗による粒子径の変化によって治療効果が損なわれる可能性があります。少なくとも1年ごとに新しいネブライザーと交換してください。

ネブライザーの組み立て

1. インサート**H**の矢印が上になるように持ち、ネブライザー下部**J**のノズル**I**の上から**H**を軽く押して外れないようにはめ込みます。

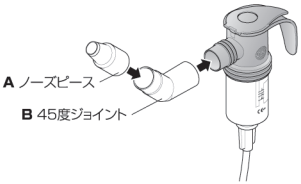


2. ネブライザー上部**G**を右に回してネブライザー下部**J**に取り付けます。



3. 送気ホース**K**をネブライザー底部の接続部にしっかり差し込みます。

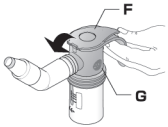
4. 送気ホースのもう一方の端をPARIジーヌスコンプレッサーの送気口(Air・Luft)に接続します。
5. ノーズピース**A**を45度ジョイント**B**に接続し、それをネブライザー本体に差し込みます。



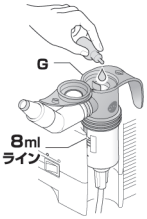
薬液の注入

1. ネブライザー上部**G**の蓋**F**を上へ押し開けます。

蓋を開けるときは、必ず蝶番(ちょうつがい)の開く向きに沿ってまっすぐに開けてください。斜めに蓋を開けると蝶番が破損する恐れがあります。



2. 処方された薬液(最高8mlまで)をネブライザー上部**G**の上から注入します。中の薬液がネブライザー本体の横にある目盛の8mlラインを超えないように注意してください。

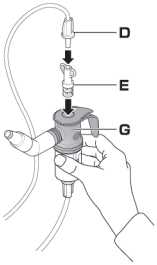


異なる薬液を続けて吸入する場合は、ネブライザーに残った薬液を水道水でよくすすぎ、ネブライザー内に付着した水滴を振り落としてから薬液を注入してください。

3. ネブライザー上部の蓋**F**をカチッと音がするまで上から押して閉じます。

4. ネブライザー本体を垂直に持ちます。ネブライザー上部**G**に振動波用接続パーツ**E**を差し込み、その上から振動波用ホース**D**をつなぎます。

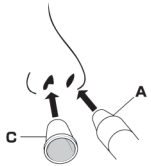
5. 振動波用ホースのもう一方の端をPARIジーヌスコンプレッサーの振動波口（Vibration）に接続します。



吸入方法

吸入を開始する前に、本品の各部品がしっかりと接続されているか確認してください。送気ホースがコンプレッサー本体の送気口とネブライザーに、振動波用ホースがコンプレッサー本体の振動波口とネブライザーに、それぞれしっかり接続しているか確認してください。接続が緩い場合やネブライザーがしっかり組み立てられていない場合、効果的な噴霧ができない恐れがあります。

1. リラックスしてまっすぐに座ってください。吸入を始める前に、ネブライザーを垂直に持ちます。
2. 鼻栓**C**を鼻の穴に差し込みます。ノーズピース**A**をもう一方の鼻の穴に隙間が出来ないよう差し込みます。鼻栓には小さな穴が開いており鼻腔内圧が高くなり過ぎないようになっています。
3. 口を開けて軟口蓋を閉じます。（詳しくは後述を参照）
4. コンプレッサー本体の電源スイッチを入れます。



5. 治療中は息を止めてください。これでエアロゾルは自動的に副鼻腔まで送達されます。呼吸するために治療を中断し、口か鼻で呼吸を行います。
6. 呼吸を数回行ったら再び軟口蓋を閉じて息を止めて治療を続行します。
7. 吸入治療は最長5分間で終了してください。左右の鼻それぞれ2分半ずつ吸入するのが理想的です。

8. 治療が終わったらネブライザー本体をコンプレッサーのネブライザー差し込み部に戻し、コンプレッサーの電源スイッチを切ります。

この治療で効果を得るためには、治療中、ノーズピース**A**を鼻にしっかりと差し込み、もう一方の鼻の穴を鼻栓**C**で閉じて、軟口蓋を閉じたままにしておくことが重要です。

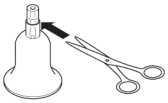
軟口蓋の閉じ方

- 口を「いーっ」と発音するように横に大きく開けると自然に軟口蓋は閉じます。（声は出しません）
- 大きく口を開けたくなければ、舌の根元をのどの奥に押しつけて軟口蓋を閉じてください。
- 「クッ」と喉から搾り出すように発音する手前の状態で軟口蓋は閉じます。

「いーっ」「えーっ」と声を長く出すと自然に軟口蓋は閉じますが、治療中は呼吸する時以外は息を止め続ける必要があります。

確認方法

鼻栓**C**が差し込まれている側の鼻翼が軽くぴくぴくし、鼻栓の穴から空気が抜けているのが確認できた場合、軟口蓋は閉じています。
吸入中、過度の圧迫を感じたり不快に感じられる場合は、鼻栓を裏返して矢印の段差のところをはさみで切れば圧迫を軽減させることができます。切った後、鼻栓を裏返して元に戻してください。



送気ホースと振動波用ホースのお手入れ

気温や湿度によって送気ホース及び振動波用ホース内に結露が発生することがあります。その場合、以下の手順で水滴を取り除いてください。

1. 送気ホースをコンプレッサーに差し込んだままネブライザーを取り外します。
2. コンプレッサーの電源スイッチを入れて送気ホース内に空気を流します。水滴が蒸発して消失するまで送気ホースのカラ吹かしを行ってください。
3. 送気ホースをコンプレッサーから取り外し、代わりに振動波用ホースの細いアダプターを送気ホース差込口に差し込みます。
4. 同様に、結露が蒸発して消失するまで振動波用ホースのカラ吹かしを行ってください。

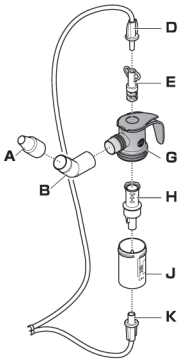
- 水滴をそのまま送気ホース及び振動波用ホース内に放置しておくと、バクテリアが繁殖して症状が悪化する恐れある上、湿気がコンプレッサー内に入って、コンプレッサーの故障につながる恐れがあります。
- PARI 送気ホースシステムジーヌス用は消耗品です。ホースが汚れている場合は、新しいPARI 送気ホースシステムジーヌス用と交換してください。汚れが見えない場合でも、1年ごとに交換してください。

洗浄前の準備

使用後は毎回必ずネブライザーの全部品（送気ホースと振動波用ホースを除く）を洗浄して薬液の付着や汚れをきれいに取り除いてください。はじめにネブライザーの各部品を次の手順に従って分解してください。

1. 送気ホース**K**と振動波用ホース**D**をネブライザーから取り外します。
2. 振動波用接続パーツ**E**、ノーズピース**A**、45度ジョイント**B**を取り外します。
3. ネブライザー上部**G**を左方向に回してネブライザー下部**J**から取り外し、ノズルインサート**H**を引き抜きます。

- 家庭でご使用の場合は、P12をお読みください。
- 医療施設でご使用の場合は、P14をお読みください。



家庭における吸入後の手順

- 1本のネブライザーを複数で共用せずに、必ず各人専用のネブライザーをご使用ください。
- 本品の洗浄の前には、念入りに手を洗い、必要に応じて消毒してください。
- 本品及びノーズピースなどの付属品は、毎回使用後に洗浄、消毒、乾燥を行ってください。使用後に洗浄しないまま放置した場合や完全に乾いていない場合、バクテリアが繁殖する恐れがあり、感染の危険が生じます。
- 新鮮な飲料用水道水を使って洗浄・消毒を行ってください。
- 洗浄・消毒を行った後、すぐに全ての部品を乾燥させることが重要です。

洗浄

1. 分解したネブライザーの全部品（送気ホースと振動波用ホースを除く）を約40℃のお湯と少量の食器用洗剤で約5分間丹念に洗います。頑固な汚れは、清潔なブラシで落としてください。（ブラシを使用する場合、洗浄専用のブラシをご用意ください。）
2. 全部品を約40℃のお湯で丁寧にすすぎ、部品に残っている水滴をよく振り落とします。その際、蓋の蝶番（ちょうつがい）が破損しないように蓋を手でしっかり押さえてください。

消毒

ネブライザーが汚れていると消毒効果が落ちるので、先に洗浄を行ってから消毒を行ってください。洗浄したネブライザーの全部品（送気ホースと振動波用ホースを除く）を、少なくとも1日1回消毒してください。

推奨法

●煮沸消毒（最低15分間）

洗浄したネブライザーの全部品（送気ホースと振動波用ホースを除く）を最低15分間煮沸消毒してください。全ての部品がお湯に浸かるよう、かつ鍋底に接触しないように注意してください。水道水が硬質の場合、精製水をご使用ください。

⚠ 蒸発によってネブライザーのプラスチック部品が鍋底に接触すると溶ける恐れがあるので、カラ炊きにならないようご注意ください。

●蒸気消毒（電気式哺乳瓶蒸気消毒器）

消毒は最低6分間行ってください。詳細については、各蒸気消毒器の取扱説明書に従ってください。

⚠ 電子レンジ蒸気消毒法は当社で有効性の検証を行っていないため使用しないでください。

代替法

当社で有効性の検証を行っていないが、従来から日本で広く行われている消毒方法です。推奨法以外の方法で消毒を行う場合は、独自の責任において行ってください。

●消毒液

プラスチック（ポリプロピレン・TPE）に適した消毒液（ミルトン、ビューラックスなど）を使用してください。
消毒後は、必ず水ですすいでください。

⚠ 湿気のある環境ではバクテリアが繁殖するので、消毒したネブライザーの各部品は、消毒後すみやかに鍋や蒸気消毒器から取り出して、完全に乾燥させてください。

乾燥

部品に残っている水滴をよく振り落とします。その際、蓋の蝶番（ちょうつがい）が破損しないように蓋を手でしっかり押さえてください。消毒したネブライザーの全部品を清潔で吸水性の高いタオルなどの上に置き、そのまま完全に乾かしてください。

保管

長期間治療を行わない場合は、ネブライザーを清潔で毛羽立たない布にくるみ、直射日光が当たらない、乾燥した埃のない場所で保管してください。

医療施設における吸入後の手順

⚠ 注 意

●医療施設の洗浄・消毒・滅菌責任者は、材質や対象微生物を考慮した上で、有効で再現性があると実証された洗浄・消毒・滅菌機器のみを使用し、滅菌バリデーションの実施によって滅菌保証が確認された各設定パラメーターは毎回一定に維持してください。また、使用する洗浄消毒・滅菌機器は定期的に保守点検を行ってください。

⚠ 注 意

- ネブライザー及びノーズピースなどの付属品を使用後に必ず洗浄し、必要に応じて消毒または滅菌を行ってください。
- 洗浄消毒を行った後、全ての部品を乾燥させることが重要です。洗浄後完全に乾いていない場合、バクテリアが繁殖する恐れがあり、感染の危険が生じます。

ネブライザーの洗浄消毒・滅菌には、患者の健康を損なうことがないよう、材質の耐性に適合し、有効で再現性があると実証された洗浄消毒・滅菌方法を実施する必要があります。

使用する洗浄・消毒・滅菌方法が毎回同じ滅菌保証が確保されるようにしてください。推奨する洗浄・消毒・滅菌機器や洗浄剤が入手できないなどの理由で別の洗浄・消毒・滅菌方法を選択する場合、その有効性が実証されているかに注意する必要があります。別の洗浄剤を使用する場合には、ネブライザーの材質に適合したものを選択し、洗浄剤の容量と取扱いはメーカーの指示に従ってください。

ネブライザー及びノーズピースなどのプラスチック製付属品（送気ホース・振動波用ホースを除く）の滅菌保証を当社で確認した洗浄・消毒・滅菌方法は次の通りです。

洗浄・消毒

ネブライザーは使用後すぐに洗浄・消毒してください。基本的には、ウォッシャーディスインフェクター等を使用してください。P12 の「洗浄前の準備」に従って各部品を取り外し、分解したネブライザーの全部品（送気ホースと振動波用ホースを除く）を洗浄後消毒してください。洗浄剤は材質の耐性に適合したものをご使用ください。

⚠ 洗浄剤によってはネブライザーの材質を損なう恐れがあるので、適切な洗浄剤を使用してください。

ウォッシャーディスインフェクター等による洗浄消毒

1. 分解したネブライザーの全部品（送気ホースと振動波用ホースを除く）が最適に洗浄されるよう形状特性を考慮して配置する。
2. 材質特性に応じた洗浄消毒工程を選択する。

⚠ 使用するウォッシャーディスインフェクター等が乾燥工程を持つタイプであっても、水滴が残っていないか確認してください。水滴が残っている場合には、水滴をよく振り落として完全に乾かしてください。

用手洗浄

1. 分解したネブライザーの全部品（送気ホースと振動波用ホースを除く）を洗浄液に浸す。
2. ブラシで各部品を念入りに洗浄する。

洗浄後すぐに消毒を行わない場合は、洗浄した部品をすすいだ後、水滴をよく振り落として清潔で吸水性の高い敷物の上で完全に乾かしてください。

化学的消毒法

1. 各消毒剤メーカーの指示に従った分量で消毒剤と水を調整し、洗浄した全部品を浸す。
2. 浸漬時間は、各消毒剤メーカーの指示に従う。
3. 消毒した部品を水（場合によっては精製水）ですすいだ後、水滴をよく振り落として清潔で吸水性の高い敷物の上で完全に乾かす。

- ネブライザー及びノーズピースなどのプラスチック製付属品は、第4級アンモニウム塩系消毒剤（ベンザルコニウム塩化物など）には適していません。第4級アンモニウム塩系消毒剤は、プラスチックの材質に濃縮して浸潤し、患者に副作用を引き起こす可能性があります。
- 当社で有効性の検証は行っていませんが、従来から次亜塩素酸ナトリウム（ミルトン、ビューラックスなど）が日本で使われています。推奨法以外の方法で、消毒を行う場合は、独自の責任において行ってください。

オートクレーブ滅菌

- 必ず洗浄消毒を行ってから滅菌を行ってください。
- 乾燥温度が137℃を超える場合、ネブライザーのプラスチック部品が溶ける恐れがあるので、137℃を超える高温に晒さないでください。

滅菌温度：121℃（滅菌時間：最低 20 分）
134℃（滅菌時間：最低 3 分）

目視による点検

毎回洗浄、消毒、滅菌後に各部品に損傷（破損、変形、変色）などがないか点検してください。

保管

消毒·滅菌されたネブライザーは乾燥した埃のない、汚染の恐れがない場所で保管してください。オートクレーブ用滅菌バッグでの保管を推奨しています。

廃棄

ネブライザーの全部品と付属品は、適切な方法で廃棄処分を行ってください。

材質と耐用期間

ネブライザーの材質は、ポリプロピレン・TPEですので、137℃を超える高温に晒さないでください。洗浄剤、消毒薬を選ぶ際、材質に適したものをご使用ください。

製品名	材質
ネブライザー、ノーズピース	ポリプロピレン TPE（熱可塑性エラストマー）
４５度ジョイント、振動波用接続パーツ	ポリプロピレン
鼻栓	シリコーン

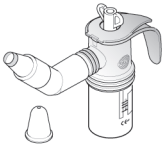
⚠ ● 効果的な吸入療法と高い品質を保つために、少なくとも1年ごとに新しいネブライザーと交換してください。

仕 様

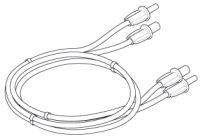
媒　　体：圧縮空気または酸素
最低薬液注入量：2ml
最高薬液注入量：8ml

※お断りなく仕様を変更することがありますのでご了承ください。

スペア部品・別売品



製品番号 023G2802
PARI LCスプリントジーヌス
ネブライザー、送気ホース無



製品番号 041B4570
PARI 送気ホースシステム
ジーヌス用

製品番号 023G2840
PARI スプリントジーヌス
アプリケーションセット

製品番号 041B0576
PARI 鼻栓

製造販売業者　村中医療器株式会社　http://www.muranaka.co.jp
〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野二丁目8番2号
TEL 0725-53-5546 / FAX 0725-53-5626